

## 第3章 景観形成に向けた基本方針

### 3-1 景観計画区域

#### 1. 景観計画区域

本市の代表的な景観は、妙義山をはじめとする雄大な山々を望む自然景観です。併せて、旧中山道や沿道に残る歴史的景観や温泉地、秋間梅林をはじめとする農地・田園景観、特徴的な工場景観など、本市の個性として活かしていくべき様々な景観が各所に点在しています。

本市が有する様々な景観資源を掘り起こし、観光施策と連携しながら魅力を高めていきます。同時に、市民生活に関わる身近な景観についても、可能などころから取組を実施し良好なものとしていくことで市民意識を向上し、市民が誇りを持てる景観まちづくりを進めます。

こうした市の魅力向上に向けて未来を見据えた景観形成を市民総働によって進めて行くため、本計画の対象区域を、安中市全域と設定します。

#### 2. 景観重点区域の指定について

本市の魅力向上に向け、特に重点的な景観形成を行う地区を景観重点区域として指定し、さらに積極的な景観形成を進めます。

景観重点区域の候補は、周辺他市や観光施策と連携し観光交流を促進することを考慮し、第2次安中市総合計画に位置付けた広域観光交流ゾーンの各地区と、本市の歴史的で特徴のある景観を残す旧中山道の4つの宿場を対象としました。

今後、これらの区域において景観重点区域の指定に向けた検討を行い、景観まちづくりに向けた気運の醸成を図ります。

景観重点区域では、区域内の住民や事業者の協力のもと、他の地域よりも細かいルールを定めたり、より多くの取組を検討・実施していくこととなります。そのため、住民や事業者の方に景観まちづくりに理解を深めていただき、景観重点区域指定について合意形成が図られた時点で、随時指定をしていきます。

##### 【景観重点区域候補】

- 横川駅・碓氷峠周辺
- 磯部温泉
- 秋間梅林
- 安中城址周辺
- 旧中山道の4宿場（板鼻宿、安中宿、松井田宿、坂本宿）

## 3-2 基本方針

### 1. 景観形成の目標

本市の上位・関連計画上の位置付けと良好な景観形成に向けた課題を踏まえ、景観形成の目標を以下の通り設定します。

**妙義山を望む豊かな自然と歴史を守り  
みんなで磨いて未来へつなぐ景観まちづくり**

#### 【景観形成の目標の考え方】

本市は妙義山をはじめとした自然景観、旧中山道沿道や旧碓氷峠鉄道施設などに残る歴史景観、秋間梅林を含めた農地・集落地景観など様々な特徴を持った景観を有しています。

市内にちりばめられた様々な景観を、今一度資源として掘り起こし、市民・事業者・行政が協力しながら磨いていくことで少しずつ魅力を高め、地域のにぎわいへ還元すると同時に、市民の地域に対する愛着や誇りの醸成につなげる、市民総働の景観まちづくりを進めます。

景観まちづくりは、単に優れたデザインの建築物などを造ったり、歴史ある景観を保全するだけではありません。市民・事業者・行政が連携し、本市らしく・美しい景観がどのようなものなのかを考え、その実現に向けた取組を絶え間なく進めていくことで、本市を訪れたい・住んでみたいと感じる人が増え、さらに取組が持続・加速していく状態を目指します。その結果として、本市に関わる様々な人が心地よく過ごすことができ、市民が快適に暮らせるまちを形づくるものです。

### 2. 景観形成基本方針

本市が有する様々な景観の魅力を高めていくために『磨く』ことを、景観を「守り」・「活かし」・「つくり」・「育む」こととし、景観形成の目標達成に向けた景観形成基本方針を以下の通り設定します。

守る：自然・歴史・農地など安中の原風景を『守る』  
活かす：特色ある新たな景観の掘り起こし、魅力ある景観資源を『活かす』  
つくる：周辺景観に配慮した建築・施設整備などを通じて良好な景観を『つくる』  
育む：良好な景観を未来へつないでいくため、市民総働で景観を『育む』

### 3. 景観形成の地区別方針

景観形成基本方針をもとに、景観形成に向けたより具体的な方針を地区別に整理します。

まず、用途地域など本市の土地利用の考え方に基づいて、全市を下記の(1)-(5)の地区に分類し、それぞれの方針を整理します。その上で、市民や来訪者の主要な動線であり特に景観への配慮が必要と考えられる道路沿道及び眺望点について、別途方針を追加することとします。(下図参照)

対象とする道路は、現在既に主要な動線として機能している国道 18 号及び上信越自動車道、将来の新たな広域的な交通動線となる西毛広域幹線道路、歴史的な景観を残しており生活動線としても利用されている旧中山道とします。

また、妙義山をはじめとした本市ならではの特徴を持った景観を楽しむことができる眺望点を設定し、眺望点の形成に向けた方針を位置づけます。

表 方針を位置づける地区の位置

No.	地区名称	場所
(1)	住宅地地区	住居系用途地域の区域
(2)	商業地地区	商業系用途地域及び準工業地域の区域
(3)	工業地地区	工業地域及び工業専用地域の区域
(4)	農地・集落地地区	用途地域外の森林地域及び自然公園地域以外の区域
(5)	森林・山林地区	森林地域及び自然公園地域の区域
(6)	国道 18 号沿道地区	国道 18 号及び国道 18 号に面する敷地
(7)	上信越自動車道沿道地区	上信越自動車道及び本線の路端から 300m 以内で本線から展望できる区域
(8)	西毛広域幹線道路沿道地区	西毛広域幹線道路及び西毛広域幹線道路に面する敷地
(9)	旧中山道沿道地区	旧中山道及び旧中山道に面する敷地
(10)	鉄道	JR 信越本線及び北陸新幹線の区域
(11)	河川・水辺	市内の河川・湖などの区域
(12)	眺望点	次頁参照

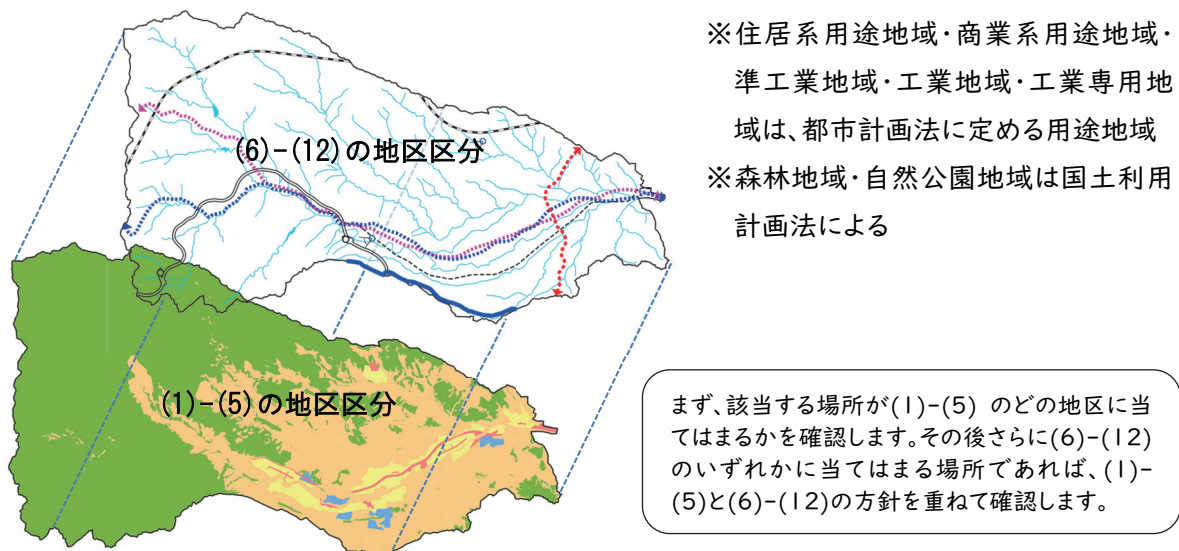


図 方针对象地区のイメージ

【眺望点の設定について】

眺望とは、ある場所（眺望点）から対象物を見たときの眺めのことをいいます。眺望の対象物には山々や農地・工場など様々ものがある他、対象物との距離・見え方によってもいろいろな眺めがあります。

本市は、妙義山に加え河岸段丘による南北に高低差のある地形、その上に形成された農地や旧中山道周辺などの歴史ある市街地など、他の地域にはない特徴的な眺めを有しています。そうした、本市を代表する様々な景観を楽しめる場所を『眺望点』として位置づけます。

眺望点は、市民の皆様からのご意見をふまえ、下記の流れで選定しました。

【眺望点選定の流れ】

- ①市民意向調査・住民意見交換会<sup>5</sup>結果から、本市を代表する様々な景観『市の大事な景観』や『特徴的な景観』を抽出
- ②特に重要な要素を『妙義山』に決定し、妙義山がきれいに見える箇所を妙義山眺望 50 選（市による景観写真募集企画）にて市民より募集
- ③①②で抽出した候補から、『安全に景観を楽しめること』を条件に絞り込みを行い、各地区毎に『妙義山がきれいに見える場所』『特色ある景観を楽しめる場所』をそれぞれ選定

表 眺望点一覧

No.	名称	No.	名称
①	安中榛名駅周辺	⑮	国道 18 号松井田バイパス
②	松井田文化会館	⑯	五料の茶屋本陣
③	西横野・東横野眺望ライン	⑰	臼井小学校周辺
④	安中駅	⑱	碓氷峠の森公園
⑤	安中市スポーツセンター	⑲	国道 18 号碓氷バイパス入山峠
⑥	安中原市のスギ並木	⑳	熊野神社・見晴台
⑦	磯部温泉 愛妻橋	㉑	碓氷関所跡
⑧	中野谷観光公園	㉒	津雲神社
⑨	崇台山	㉓	細野スポーツ広場
⑩	岩井陸橋	㉔	碓氷第三橋梁（めがね橋）
⑪	碓氷川・九十九川サイクリングロード	㉕	国道 18 号（旧道）・碓氷峠
⑫	石尊山（麓）	㉖	坂本宿
⑬	後閑城址公園	㉗	安中中心市街地
⑭	花の木橋		

<sup>5</sup> 景観まちづくりに関する住民意見交換会。景観計画の説明や策定に向けたご意見を頂くため令和元年 11 月に開催。

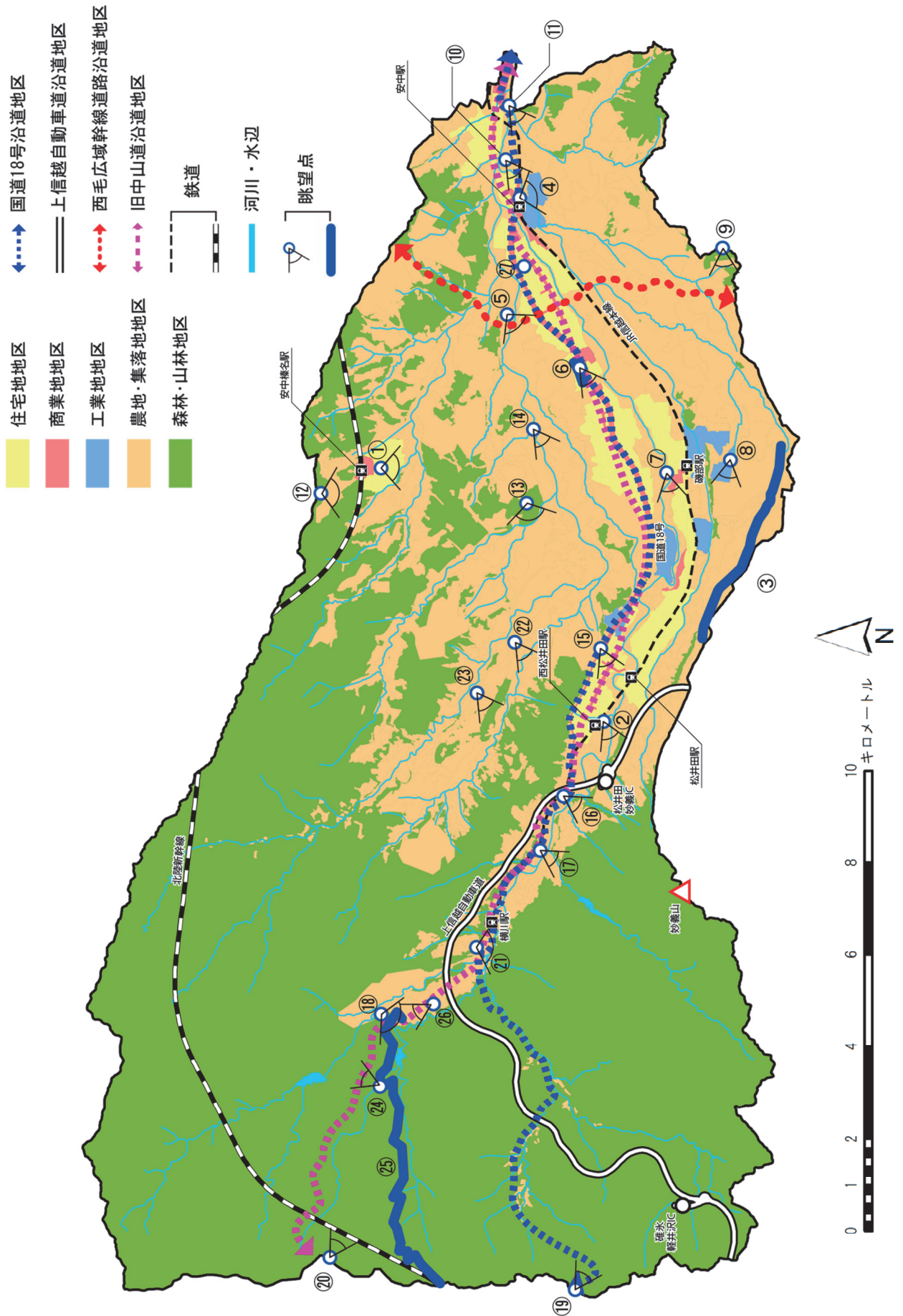


図 景観形成方針図

## (1) 住宅地地区

住宅地地区は住居系用途地域が指定されている地域で、主に安中・板鼻地区、原市・磯部地区、松井田地区が挙げられます。

旧中山道沿いでは、宿場町の趣を残した落ち着いたある住宅地景観が、安中城址周辺では、歴史を感じる趣のある低層住宅地が形成されるなど、地域ごとに特徴のある住宅地景観が広がっています。これらの住宅地においては、周辺からの景観を損なわないよう、調和のとれた景観形成方針を定め、景観まちづくりを行っていきます。

また、管理されていない空き家や、空き店舗は今後の活用方法を検討し、にぎわいと活気のある景観の創出を図ります。

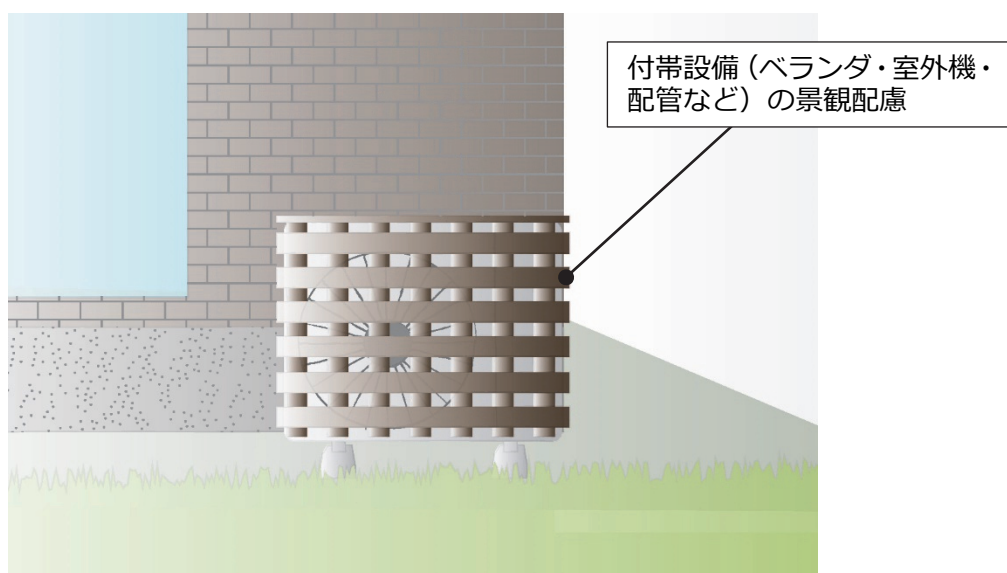
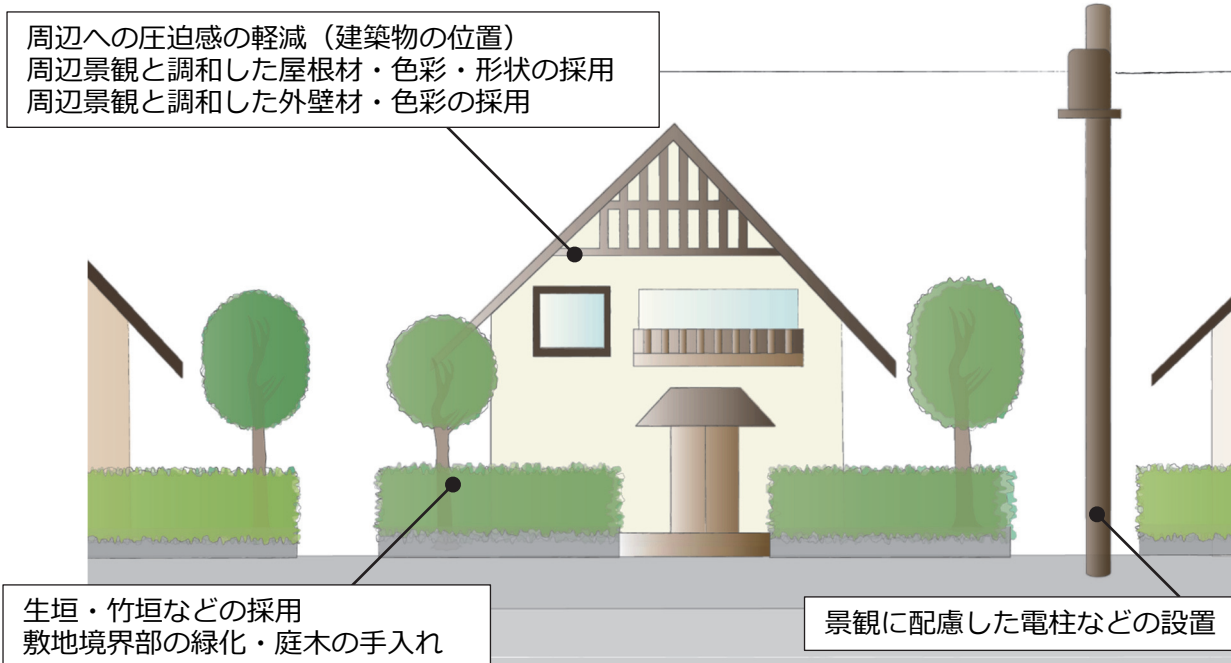
住宅地内で増加している太陽光発電設備については周囲のまち並みに配慮したつくりとし、周辺住宅地への影響や圧迫感を低減します。

### 【住宅地地区の景観形成方針】

- 各地区の特性に応じた住宅地景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物はそれぞれの地区の景観特性に応じたデザイン・素材・高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、デザイン、緑化などに配慮し、周辺の住宅地景観と調和したものとします。
  - ・地域に残る大切な史跡・文化財・寺社・樹木などの景観資源の保全を図ります。
  - ・地域に伝わる祭事の維持・継承に努めます。
  - ・適切に管理されていない空き地・空き家・空き店舗や耕作放棄地などの発生・増加による、住宅地景観の悪化を防ぎます。
  - ・道路照明などは、それぞれの地区の住宅地景観と調和したものとします。
  - ・秋間みのりが丘や古城団地など、新しく開発された大規模住宅地では、良好な住環境の維持・保全を図ります。また、建築協約が定められた地区では地区独自のルールに沿って調和のとれた美しいまち並みの景観形成を目指します。
  - ・既に良好な景観形成が行われている住宅地では住宅地景観の維持・保全を推進します。
  - ・市街地内農地の活用を促進します。
- 良好な住宅地景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・それぞれの地域の歴史的建造物などの景観資源を活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
- 良好な住宅地景観をつくります
  - ・景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・住宅地としての景観を阻害するような建築物・工作物などは改善に努めます。
  - ・電柱の色については、周辺景観に配慮した色彩を検討します。また、主要道路沿道については無電柱化を検討します。

- 良好な住宅地景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・まち探検や学習会など、まち並みや景観について学ぶ機会を設け、景観まちづくりの機運を醸成します。

【参考：住宅地地区における景観形成のイメージ】



- ◆ その他の取組例
  - ・夜間に門灯を点ける取組（暖色系に統一）
  - ・ゴミ置場などの目隠し

## (2) 商業地地区

国道18号及び安中駅、松井田駅付近の旧中山道に沿って形成されている商業地地区では、市役所や図書館、文化センターなどをはじめとする公共施設のほか、安中、原市地区を中心にロードサイド型の店舗が立ち並び、旧中山道の宿場町の周辺や、磯部温泉周辺では昔ながらの商店や、飲食店など様々な商業施設が連なっています。

これらの地区では、沿道建築物の形態意匠を工夫し、周辺景観と一体的でにぎわいや風情・風格を感じる景観形成を進めます。

市役所周辺は、西毛広域幹線道路の開通に伴い、本市の中心拠点にふさわしい景観となるよう、風格ある一体的な景観形成を図ります。

また、碓氷川沿いに開けた磯部温泉では食堂や土産店などが軒を連ね、温泉街の情緒や雰囲気を楽しめる景観が広がっています。ここでは、温泉地という個性を活かした風情ある景観形成を検討します。

### 【商業地地区の景観形成方針】

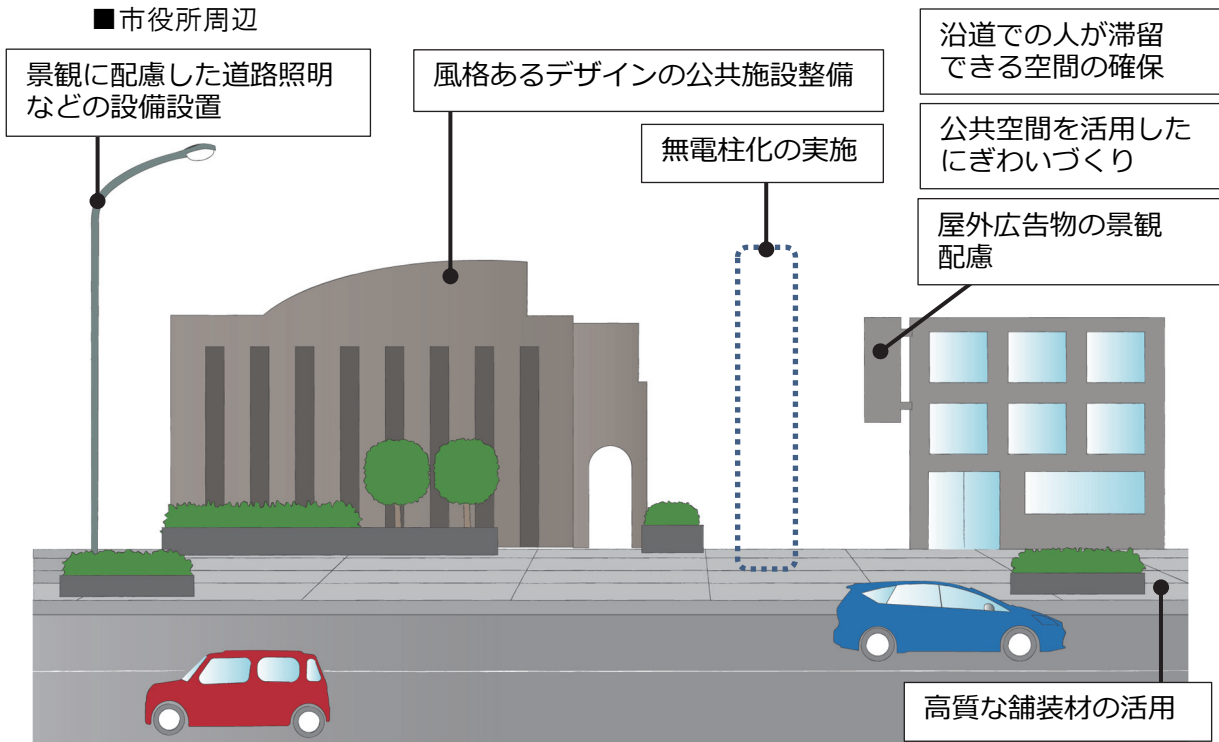
- 風情や風格を感じる商業地景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物はそれぞれの地区の特性に応じて、にぎやかさや個性が感じられるデザインとし、素材・高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、デザイン、緑化などに配慮し、周辺の商業地景観と調和したものとします。
  - ・地域に残る大切な史跡・文化財・寺社・樹木などの景観資源の保全を図ります。
  - ・地域に伝わる祭事の維持・継承に努めます。
  - ・適切に管理されていない空き地・空き家・空き店舗や耕作放棄地などの発生・増加による、商業地景観の悪化を防ぎます。
  - ・道路照明などは、市役所周辺や幹線道路周辺の地区においては、機能を確保しながら周辺景観に配慮したデザインとし、磯部温泉では夜のまち歩きも考慮し、温泉街らしい情緒が感じられるよう工夫します。
  - ・市街地内農地の活用を促進します。
- 風情や風格を感じる商業地景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・それぞれの地域の歴史的建造物などの景観資源を活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
  - ・磯部温泉などの風情や趣を感じられるまち並みを持った地域では、景観資源の継続的な発掘・調査や、まち歩きのルート開発を行い、にぎわいや愛着の増加を図ります。



- 良好な商業地景観をつくります
  - ・景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・商業地としての景観を阻害するような建築物・工作物などは改善に努めます。
  - ・にぎわいを感じる商業地の景観形成を目指します。
  - ・電柱の色については、周辺景観に配慮した色彩を検討します。また、主要道路沿道については無電柱化を検討します。
  - ・にぎわいや風格・風情を感じる商業地の景観を形成します。
  - ・磯部温泉では、碓氷川の水辺景観や、坂と階段、社寺や石碑などの景観資源を活用し、温泉街の情緒が感じられる景観を形成します。
  - ・電柱の色については、周辺景観に配慮した色彩を検討します。また、主要道路沿道については無電柱化を検討します。
- 良好な商業地景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・まち探検や学習会など、まち並みや景観について学ぶ機会を設け、景観まちづくりの機運を醸成します。

【参考：商業地地区における景観形成のイメージ】

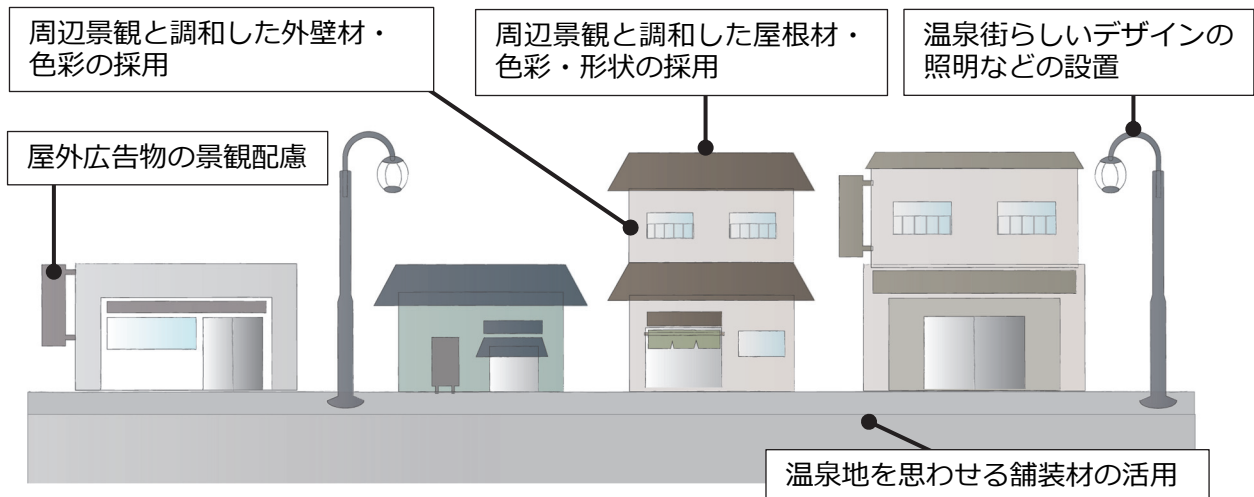
■市役所周辺



◆その他の取組例

- ・空き家・空き店舗のリノベーションと一階部分への店舗の誘導
- ・空き地・空き家・空き店舗の活用
- ・居心地が良く歩きたくなる空間づくり
- ・沿道建築物の壁面の位置・建築物の高さを隣家と揃える
- ・付帯設備（ベランダ・室外機・配管など）の景観配慮
- ・夜間に門灯を点ける取組（暖色系に統一）
- ・ゴミ置場などの目隠し
- ・敷地境界部の緑化・庭木の手入れ

■磯部温泉



◆その他の取組例

- ・空き家・空き店舗のリノベーションと一階部分への店舗の誘導
- ・空き地・空き家・空き店舗の活用
- ・居心地が良く歩きたくなる空間づくり
- ・沿道建築物などのセットバックによる歩行者空間を確保
- ・沿道建築物の壁面の位置・建築物の高さを隣家と揃える
- ・付帯設備（ベランダ・室外機・配管など）の景観配慮
- ・夜間に門灯を点ける取組（暖色系に統一）
- ・ゴミ置場などの目隠し
- ・敷地境界部の緑化・庭木の手入れ

### (3) 工業地地区

安中駅周辺の丘陵の斜面に沿って建てられた精錬工場や、磯部駅周辺の大規模な化学プラントが立ち並ぶ姿など、本市の特徴的な景観の一つとして捉えられています。そのほかの地区でも、交通の便が良いことなどから、計画的に整備された工業団地が広がり、数多くの工場が立地しています。

これらの工業地景観を守るため、建築物などの色彩や敷地内緑化など、すでに景観に配慮された工場については、引き続きその取組を維持します。大規模工場では、周辺の景観に対する圧迫感や威圧感を軽減し、周辺景観との調和を図るための景観形成方針を定め、景観まちづくりを行っています。

#### 【工業地地区の景観形成方針】

- 周辺景観に配慮された工業地景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、施設の特徴が表れるようなデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・大規模な工場や倉庫は、外周への植栽や建物の色彩の工夫により、圧迫感や威圧感を与えないよう周辺と調和したものとします。
  - ・地域に残る大切な史跡・文化財・寺社・樹木などの景観資源の保全を図ります。
  - ・適切に管理されていない空き地・空き家・空き店舗や廃工場などの発生・増加による、工業地景観の悪化を防ぎます。
  - ・道路照明などは、工業地景観と調和したものとします。
- 特徴的な工場景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・安中駅・磯部駅周辺の工場や、工場夜景を景観資源として活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
- 良好な工業地景観をつくります
  - ・景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・美しい工業地の景観を形成します。
  - ・敷地内の緑化に努め、周辺景観に調和したものとします。
- 周辺景観に配慮された工業地景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・工場や工場夜景の見学会などを検討し、工場景観を活かしたまちづくりの機運を醸成します。

#### (4) 農地・集落地地区

市街地郊外には、本市において大きな面積を占めている農地が広がり、標高差を活かした農業が営まれているほか、碓氷川や九十九川によって形成された起伏に富んだ河岸段丘では様々な農作物が作られています。

また、土地改良が行われた磯部地区や、東横野、西横野では整然とした畑や水田、山間部では梅林や棚田などの農地景観が見られます。

農地の間にはいくつもの農村集落があり、懐かしさが感じられる農村景観が保たれているほか、檜ぐねという屋敷林が見られる家屋も残るなど、農地と一体となったゆとりある敷地を持った家並みも見ることができます。

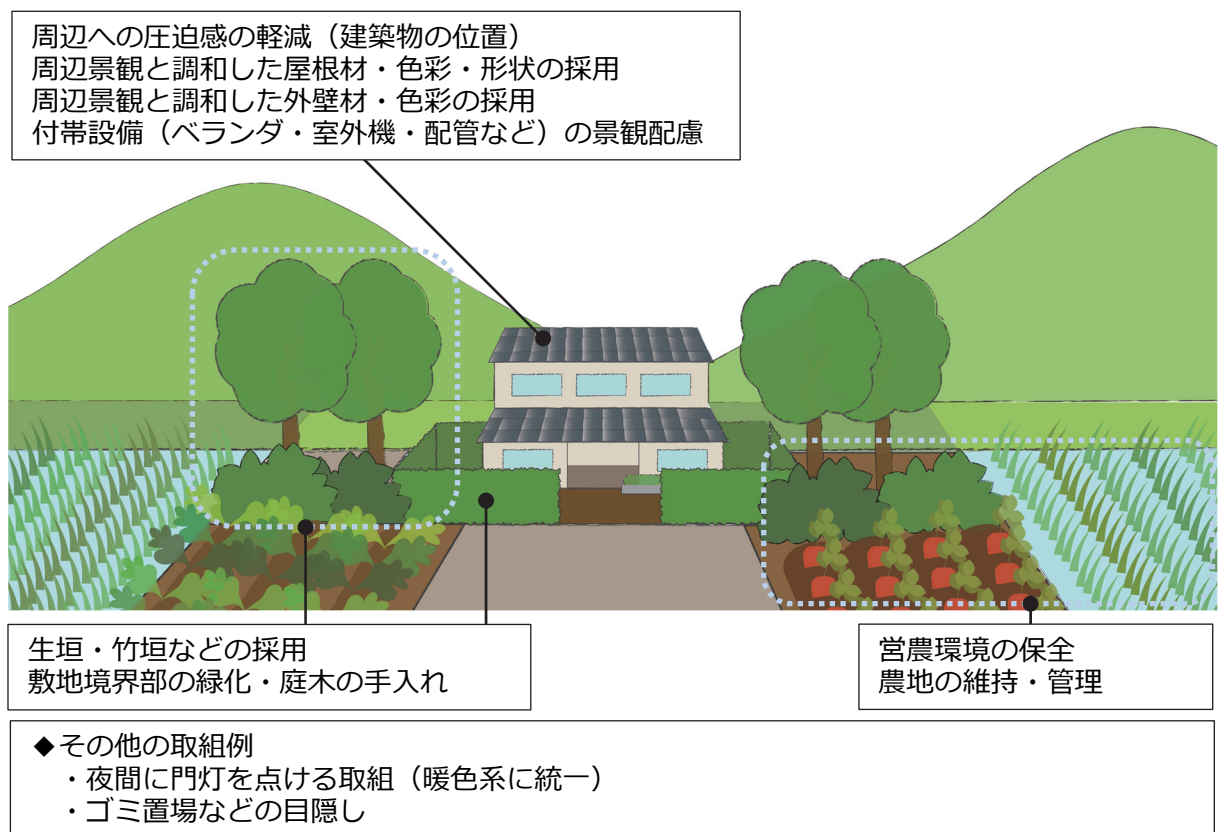
農地・集落地地区では、営農環境維持や農業施設の維持・管理を通じて農地景観の形成を進めます。

##### 【農地・集落地地区の景観形成方針】

- 懐かしさを感じる農地・集落地景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は農地・集落地景観に応じた落ち着いたデザインとし、妙義山をはじめとする山並みなどの眺望を阻害しないよう高さに配慮するなど、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、デザイン、緑化などに配慮し、周辺の田園や集落の風景、背景となる山並みなどと調和したものとします。
  - ・地域に残る大切な史跡・文化財・寺社・樹木などの景観資源の保全を図ります。
  - ・地域に伝わる祭事の維持・継承に努めます。
  - ・適切に管理されていない空き地・空き家・空き店舗や耕作放棄地などの発生・増加による、農業地景観の悪化を防ぎます。
  - ・道路照明などは、農地・集落地景観に応じた落ち着いたデザインとし、周辺景観と調和したものとします。
  - ・農業の担い手や経営体の育成・支援を通じて耕作放棄された農地の利活用を促進します。
  - ・営農環境を維持・保全します。
  - ・市内に残る養蚕から製糸までの養蚕業を維持し、桑園や絹産業遺産など歴史・文化的景観を後世に伝えます。
  - ・農地を転用するときは、周辺景観との調和に配慮し、良好な農地・集落地景観を保全します。
  - ・檜ぐね、養蚕農家、自然石積みの外構、谷津田・棚田など、農村に残る特徴的な景観の維持・保全を図ります。
  - ・梅や桜、ろうばい、山吹をはじめとする、花の名所などを保全します。

- 懐かしさを感じる農地・集落地景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・妙義道などの古道やフットパスの整備などを通して、農村集落をはじめ、河岸段丘に広がる田畑や山間部の谷津田・棚田・果樹園などの景観資源を活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
  - ・秋間梅林や民間の植物園、桜の名所や地域で育てている花畑など、市内の花の名所を景観資源として活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
- 良好な農地・集落地景観をつくります
  - ・景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・農地・集落地としての景観を阻害するような建築物・工作物などは改善に努めます。
  - ・用水路やため池などは身近な水辺空間として保全・活用し、潤いのある農地・集落地景観を形成します。
  - ・電柱の色については、周辺景観に配慮した色彩を検討します。
  - ・耕作放棄地で再度営農できる環境づくりを図ります。
- 懐かしさを感じる農地・集落地景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・地域探検や学習会など、農村景観について学ぶ機会を設け、景観まちづくりの機運を醸成します。

【参考：農地・集落地地区における景観形成のイメージ】



## (5) 森林・山林地区

上毛三山の一つである妙義山をはじめ、碓氷峠や霧積山地、石尊山などの山に囲まれ、平地からの標高差も1000mを超えるなど、変化に富んだ地形が形成されています。

特に妙義山は、心象風景として挙げられる本市を代表する景観資源であり、見る場所によって異なる姿を現すなど、市内各地からの妙義山の眺めは格別です。また、遊歩道や登山道が整備された里山では多くの登山客が訪れています。

その他にも、上信越高原国立公園と妙義荒船佐久高原国定公園の2つの自然公園を有し、自然豊かで特徴的な地形が織りなす景観が形成されています。

これらの眺望や、良好な森林景観を保全していくため、自然公園法などと併せて周辺景観の配慮を行うなどの景観まちづくりを検討します。

### 【森林・山林地区の景観形成方針】

- 山々の眺望景観や森林景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、背景になる山や森林の自然環境に応じたデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは山並みなどの眺望に配慮し、周辺景観と調和したものとします。
  - ・地域に残る大切な史跡・文化財・寺社・樹木などの景観資源の保全を図ります。
  - ・地域に伝わる祭事の維持・継承に努めます。
  - ・適切に管理されていない空き地・空き家・耕作放棄地などの発生・増加による、森林・山林景観の悪化を防ぎます。
  - ・道路照明などは、背景になる山や森林の自然環境に応じたデザインとし、周辺景観と調和したものとします。
  - ・木竹の伐採は最小限に抑え、樹木、地形、水系を保全し、自生の植物種による緑化を図ります。
- 山々の眺望景観や森林景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・妙義道などの古道やフットパスの整備などを通して、妙義山や里山、碓氷峠の森などの景観資源を活用し、それらを結ぶ回遊性を持ったルートを確立します。
- 良好な眺望景観・森林景観をつくります
  - ・景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・森林・山林としての景観を阻害するような建築物・工作物などは改善に努めます。
  - ・荒れた森林の手入れにより良好な森林景観を形成します。
  - ・電柱の色については、周辺景観に配慮した色彩を検討します。
- 眺望景観・森林景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・森の観察会や、里山ハイキングイベントなど、自然環境について学ぶ機会を設け、自然を活かした景観まちづくりの機運を醸成します。

## (6) 国道18号沿道地区

本市を東西に横断する国道18号は、市民や来訪者が日常的に利用しているほか、高速道路網や新幹線鉄道網の整備が進む今日でも、旅客や貨物輸送の中核を担う通行路として多くの往来があります。また、古代の東山道や近世の中山道から連なる日本の東西を結ぶ道路としての歴史も継承しており、本市にとって重要な景観資源となっています。

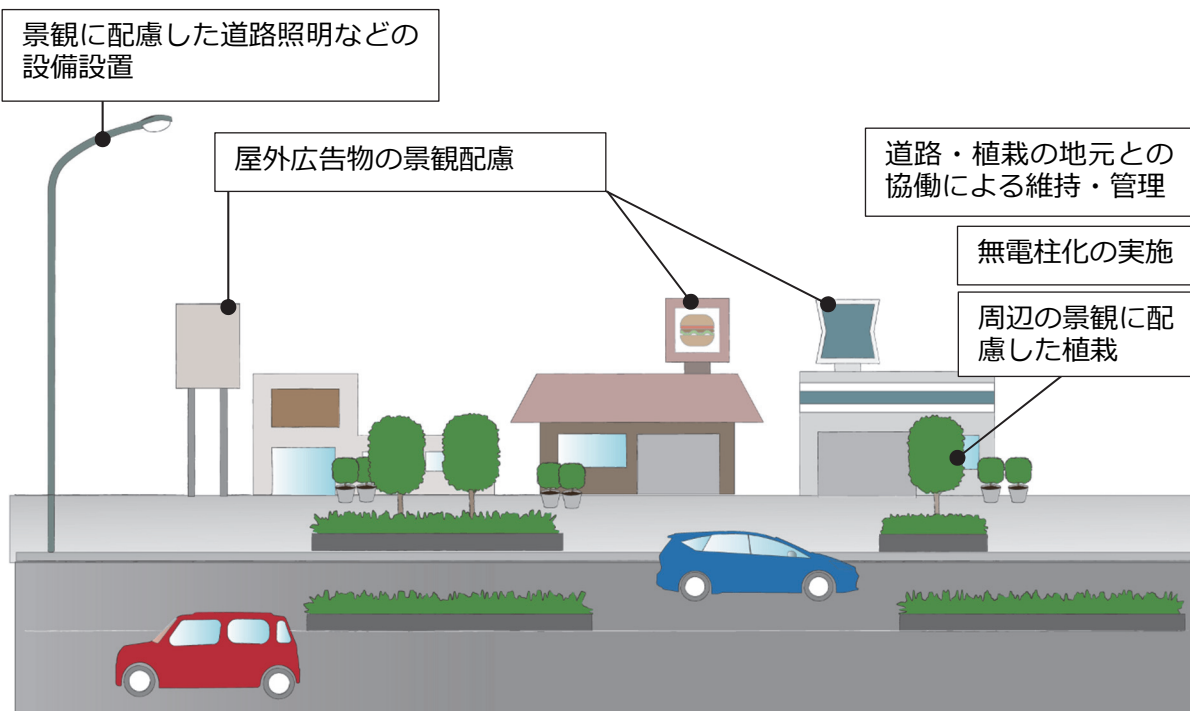
道路からは妙義山をはじめとする上毛三山や上信国境の浅間山、荒船山などの西上州の山並み、碓氷川や九十九川などの河川、ロードサイド店が並ぶ市街地、集落と田園、碓氷峠周辺の森、安中駅周辺の工場景観などの変化に富んだ景色を楽しむことができます。

国道18号沿道については、住宅地地区や商業地地区などの景観形成方針に加えて、主要道路沿道として、それぞれの場所に合わせた周辺景観や眺望への配慮を行うための景観形成方針を定め、よりきめ細やかな景観まちづくりを行っていきます。

### 【国道18号沿道地区の景観形成方針】

- 主要道路沿道にふさわしい景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、商業地や住宅地などそれぞれの沿道地区の特性に応じたデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、それぞれの地区のまち並みの連続性や、車窓からの見え方に配慮し、周辺景観と調和したものとします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・森林・山林地区では、連続する山並みの眺望を遮らないようにします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・農地・集落地地区の沿道は、敷地内の緑化を図り、建築物等については敷地内にゆとりが感じられるよう、位置やデザインに配慮します。
- 車窓からの景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・特徴的な建物や山々の眺望など、変化する沿道景観を楽しむための情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
- 周辺景観と調和した沿道景観をつくります
  - ・沿道景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・市街地、住宅地、山林など移ろいゆく風景に配慮した沿道の景観を形成します。
- 沿道景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・ウォーキングイベントなどを通して国道18号と沿道の景観について学ぶ機会を設け、まちづくりの機運を醸成します。

【参考：国道 18 号沿道地区における景観形成のイメージ】



◆その他の取組例

- ・大規模な店舗や工場などは緑化やオープンスペースを確保し圧迫感を抑える
- ・沿道で資材などを保管する際の景観配慮（高さを抑える、緑化して遮蔽するなど）



### (7) 上信越自動車道沿道地区

上信越自動車道は群馬県藤岡市の藤岡ジャンクションから新潟県上越市の上越ジャンクションに至る高速道路で、本市への来訪者や長野県方面へ行き来する通行者に広く利用されています。市内には松井田妙義と碓氷軽井沢の2つのインターチェンジがあり本市への玄関口となっているほか、横川サービスエリアは碓氷峠の麓のサービスエリアとして多くの利用客で賑わっています。

道路からは妙義山の山容を間近に見られるほか、峠越えの間ではトンネルと橋が連続する山岳道路としての眺めを楽しむことができます。この道路は本市における重要な景観資源となっており、沿道では良好な景観を保全するために屋外広告物の設置が規制されています。

上信越自動車道沿道地区においては、農地・集落地地区や森林・山林地区などの景観形成方針に加えて、高速道路からの眺望や周辺景観への配慮を行うための景観形成方針を定め、よりきめ細やかな景観まちづくりを行っていきます。

#### 【上信越自動車道沿道地区の景観形成方針】

- 高速道路からの眺望景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、妙義山をはじめとする山並みなどの良好な眺望を有する景観特性に応じたデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、車窓からの見え方やデザインに配慮し、背景となる山並みなどと調和したものとします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
- 車窓からの景観・高速道路のある景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・山々の眺望など変化する車窓からの景観や、山並みと高速道路を組み合わせた景観などの情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
- 周辺景観と調和した沿道景観をつくります
  - ・沿道景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・農地や集落、森林や山並みと高速道路が調和した沿道の景観を形成します。
  - ・インターチェンジ周辺では、市の玄関口としてふさわしい景観形成を形成します。
- 沿道景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・構造物の学習会などを通して上信越自動車道と沿道の景観について学ぶ機会を設け、まちづくりの機運を醸成します。

## (8) 西毛広域幹線道路沿道地区

地域連携の強化や渋滞緩和・物流効率化など西毛地域の発展を目的とし、本市と前橋・高崎市方面及び富岡市を結ぶ西毛広域幹線道路の整備が進められています。

市内の整備済みの区間では、良好な景観を保全するために屋外広告物の規制が行われているほか、道路の付帯施設などについても景観に配慮した色彩やデザインが採用されています。

また、市役所周辺の一部区間については、群馬県が取り組む「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」が実施され、沿道地域の良好な景観形成において重要な要素の一つとなっていることから、第6章の景観重要道路としての指定を行います。

西毛広域幹線道路は本市を南北方向に貫く広域交通軸として重要な景観資源であるため、沿道においては、商業地地区や農地・集落地地区などの景観形成方針に加えて、それぞれの地域に合わせた周辺景観や眺望への配慮を行うための景観形成方針を定め、よりきめ細やかな景観まちづくりを行っていきます。

特に市役所周辺においては、良好な景観整備について関係機関と調整しつつ、市の中心拠点にふさわしい風格ある沿道の景観まちづくりを推進します。

### 【西毛広域幹線道路沿道地区の景観形成方針】

- 主要道路沿道にふさわしい景観を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、それぞれの沿道地区の景観特性に応じたデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・建築物などは、沿道空間の連続性や、車窓からの見え方に配慮し、商業地や農地・集落地などそれぞれの地区のまち並みと調和したものとします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・森林・山林地区では、山並みや市街地の眺望に配慮し、自然環境と調和するものとします。
- 車窓からの景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・特徴的な建物や山々の眺望など、変化する沿道景観を楽しむための情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
- 周辺景観と調和した沿道景観をつくります
  - ・沿道景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・市役所周辺において、関係機関と調整しつつ、市の中心拠点にふさわしい風格ある沿道の景観を形成します。
  - ・商業地地区では、周辺の景観や眺望に配慮しながら、にぎわいが感じられる沿道の景観を形成します。
  - ・集落地やその周辺の農地では、豊かな農業景観や自然環境と調和し、山並みなどの眺望にも配慮したゆとりある沿道の景観を形成します。

- 沿道空間を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・新しい道路空間と周辺のまち並みを巡るイベントなど、景観について学ぶ機会を設け、西毛広域幹線道路を活かした景観まちづくりの機運を醸成します。

## (9) 旧中山道沿道地区

かつて本市には旧中山道の 4 つの宿駅と碓氷関所が設けられていました。現在も旧中山道の市内の多くの区間は、市民の生活に欠かせない道路として日常的に利用されています。また、徒歩や自転車で通行することを目的とする旅行者も見られ、近年は外国人の姿も増えてきています。

市内では宿場の街並みをはじめ所々に歴史を感じさせる建物があり、往時の面影を残しています。原市の杉並木や碓氷峠の峠道を歩けば、江戸時代の五街道としての特徴的な姿を感じることもできます。また、道祖神や地蔵、石碑なども数多く残っており、山間の集落や田園の風景にも懐かしさを憶えます。

坂本・横川地区の旧中山道では、周辺に旧碓氷峠鉄道施設も残っています。この施設群は、本市に残る歴史的景観の中でも特徴的で知名度の高いものです。

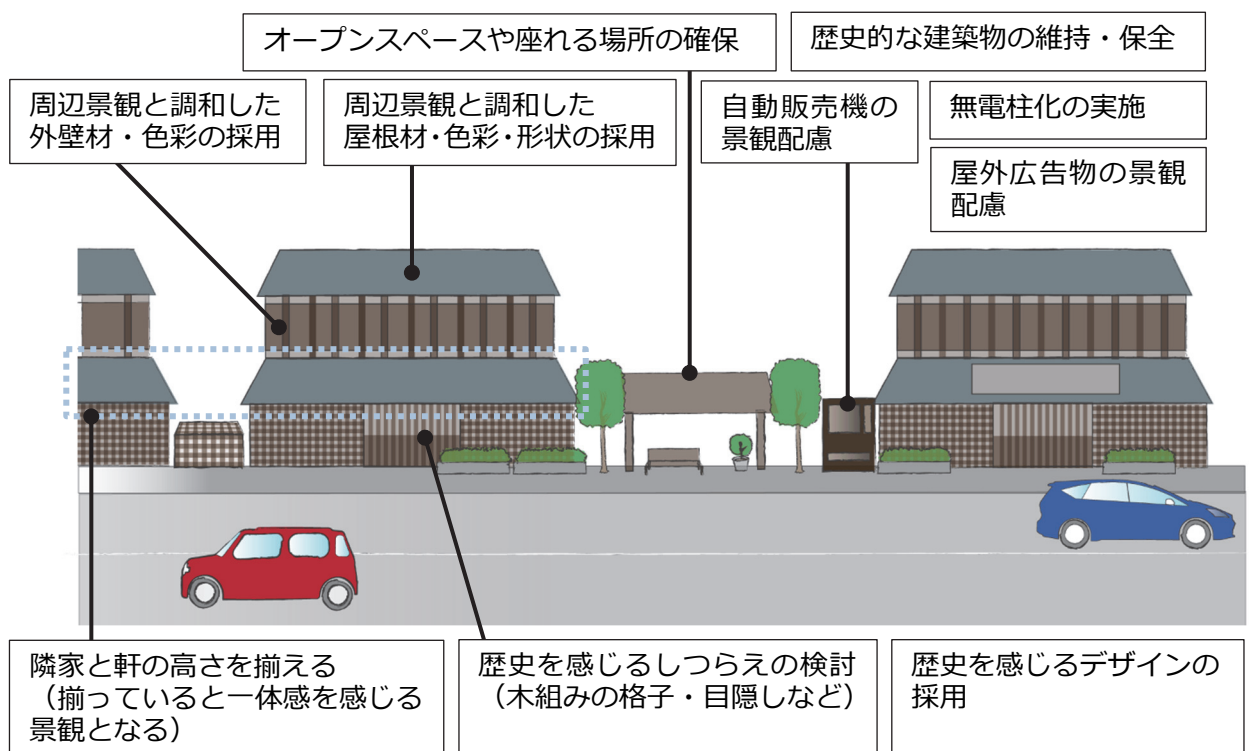
旧中山道は本市の重要な景観資源であり、その沿道では、商業地地区や農地・集落地地区などの景観形成方針に加えて、歴史的景観を継承する地区として趣のある建築物などを守りながら周辺景観や眺望への配慮を行うための景観形成方針を定め、よりきめ細やかな景観まちづくりを行っていきます。

### 【旧中山道沿道地区の景観形成方針】

- 本市に伝わる歴史・文化を守ります
  - ・太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・屋外広告物は、歴史的景観が残る街道沿いの景観特性に応じた趣のあるデザインとし、素材や高さへの配慮により、周辺景観と調和したものとします。
  - ・建築物などは、眺望に配慮し、街道沿いのたたずまいを保全・継承していくため、それぞれの地区のまち並みや自然環境と調和したものとします。
  - ・道路照明などは、それぞれの地区ごとに風情やにぎわいが感じられるよう、デザインの統一感に配慮し、周辺景観と調和したものとします。
  - ・道路及び植栽などの適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・旧碓氷峠鉄道施設など、旧中山道周辺に残る文化財や史跡、天然記念物などの歴史遺産を保全します。
  - ・民間所有の歴史的建築物などの維持・管理への支援を図ります。(景観重要建造物指定など)
- 歴史的景観をにぎわい・交流に活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・歴史的建造物や山々の眺望など、変化する沿道景観を楽しむための情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
  - ・宿場町などの風情や趣を感じられるまち並みを持った地域では、景観資源の継続的な発掘・調査や、まち歩きルート開発を行い、にぎわいや愛着の増加を図ります。

- 歴史を感じる景観をつくります
  - ・沿道景観に配慮した公共施設整備を図ります。
  - ・歴史を感じるデザインによる建築や施設設備を推進し、旧中山道の風景に配慮した景観を形成します。
  - ・宿場や市街地では、街道の趣とにぎわいが感じられる沿道の景観を形成します。
  - ・山間の集落や田園地域では、豊かな自然環境や眺望を活かしたゆとりと郷愁が感じられる沿道の景観を形成します。
  - ・旧中山道沿道に残る歴史的建造物などの景観資源を活用し、街道のたたずまいを感じられる景観を形成します。
  - ・旧中山道の歴史の道整備を推進します。
- 沿道景観を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・ウォーキングイベントや学習会など、街道やまち並みについて学ぶ機会を設け、歴史的景観を活かしたまちづくりの機運を醸成します。

【参考：旧中山道沿道地区における景観形成のイメージ】



◆ その他の取組例

- ・空き家・空き店舗のリノベーションと一階部分への店舗の誘導
- ・歩きたくなる空間づくり
- ・沿道建築物の壁面の位置・建築物の高さを隣家と揃える
- ・夜間に門灯を点ける取組（暖色系に統一）
- ・ゴミ置場などの目隠し
- ・花を飾る取組・清掃活動

## (10) 鉄道

JR 信越本線や北陸新幹線は、市民の日常の足となっているほか、来訪者にとっては市内へのアクセス経路ともなっており、その沿線景観や車窓景観は本市の第一印象となるものです。また、鉄道そのものも信越本線では SL 列車、北陸新幹線では最新の車両が運行されるなど、鉄道のまちとしての本市の歴史を物語る重要な景観資源です。

これらの路線では、施設の適切な維持・管理の継続や周辺景観への配慮を行うなど、本市ならではの鉄道のある景観まちづくりを検討します。

特に信越本線の車窓からは妙義山をはじめ、市街地・農地・河川・山林と移ろいゆく様々な個性ある風景を見ることができます。これらの景観を活かしつつ、鉄道沿線では車窓からの景観を遮らない配慮を行うなどの景観まちづくりを検討します。

### 【鉄道の景観形成方針】

- 車窓景観・鉄道のある景観を守ります
  - ・鉄道周辺の敷地に太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・鉄道周辺の建築物や屋外広告物などは、車窓からの見え方に配慮したデザインにするとともに、鉄道や周辺景観、背景となる山並みなどと調和したものとします。
  - ・鉄道関連施設の適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・車窓から望む妙義山や田園などへの良好な眺望景観の保全を図ります。
- 車窓景観・鉄道のある景観を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・山々の眺望など変化する車窓からの景観や、田園や工場地帯を鉄道が走る景観などの情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
- 車窓景観・鉄道のある景観をつくります
  - ・信越本線沿線では田園地帯、工場地帯、山間の集落などを電車が走る本市ならではの鉄道風景に配慮した景観を形成します。
  - ・鉄道駅周辺では、歩行区間の整備や緑化の推進などにより、市の玄関口としてふさわしい景観を形成します。
- 車窓景観・鉄道のある景観を育みます
  - ・鉄道周辺地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・鉄道を移動に利用するイベントなどを通して鉄道について学ぶ機会を設け、鉄道を活かした景観まちづくりの機運を醸成します。

## (11) 河川・水辺

本市は中央分水嶺の碓氷峠を有し、山々から発する河川は碓氷川へと合流します。これらの河川、滝や湖は人々にうらおいや癒しをもたらし、生活に無くてはならないものとなっています。

碓氷川や九十九川は市域の中央部から東部にかけて河岸段丘を形成し、安中地区の段丘上にはかつて安中城や安中宿が置かれ、今日では都市の拠点となる市街地に発展しました。

それぞれの河川には滝や甌穴などの特徴的な地形、ダムによる人造湖や親水施設、サイクリングロードなどがあり、開けた場所からの妙義山の見通しや、橋や堰堤の眺めなど様々な水辺景観を楽しむことができます。

このように河川や湖などは自然豊かなオープンスペースの軸として重要な景観資源であり、環境美化や川沿いの緑地の保全に努め、美しい水辺景観を維持します。また、周囲の山並みなどへの良好な眺望景観の保全を図ります。

### 【河川・水辺の景観形成方針】

- 美しい水辺景観を守ります
  - ・河川に面した敷地に太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・河川に面した建築物や屋外広告物などは、河川や周辺の自然環境などと調和したものとします。
  - ・水辺景観の適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
  - ・橋や河川敷、堤防道路等から望む妙義山や田園などへの良好な眺望景観の保全を図ります。
  - ・水辺の緑地を保全するとともに、環境美化に努め、美しい水辺景観を保全します。
- 水辺空間の魅力を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・河岸段丘や滝、碓氷・九十九川サイクリングロードや世界最古のマイルカ科の化石など河川や水辺にまつわる情報を発信し、にぎわいや愛着の増加を図ります。
- 魅力的な水辺空間をつくります
  - ・自然豊かなオープンスペースの軸として、のびやかで開放的な河川の景観形成を図ります。
  - ・河川改修が行われる際には、水辺や周囲の環境に配慮した景観形成を図ります。
  - ・景観に配慮した河川や施設の整備及び維持・管理を図ります。
  - ・周辺景観や自然環境に配慮しつつ、美しい橋などの施設整備を図ります。
  - ・水に触れあえる河川環境整備を図ります。
  - ・安中地区の中心市街地では、碓氷川・九十九川の水辺や橋の景観を活かし、潤いのある市街地景観を形成します。

- うるおいのある水辺空間を育みます
  - ・河川周辺地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・水生生物の観察会や、ダム・橋の見学会など、水辺の自然環境や河川インフラについて学ぶ機会を設け、河川・水辺を活かした景観まちづくりの機運を醸成します。

## (12) 眺望点

本市は、妙義山に加え河岸段丘による南北に高低差のある地形、その上に形成された農地や旧中山道周辺などの歴史ある市街地など、他の地域にはない特徴的な眺めを有しています。

これら周辺景観を特に美しく観ることができる眺望点は、市の財産として将来に引き継ぎます。

眺望点の活用には、来訪者による混雑などの影響を考慮しながら、景観を楽しめる空間整備や、その魅力の活用・情報発信を検討します。

### 【眺望点の景観形成方針】

- 眺望点からの良好な景観を守ります
  - ・眺望点周辺の敷地に太陽光発電設備などを設置するときは、周辺景観に調和したものとします。
  - ・眺望点周辺の建築物や屋外広告物などは、眺望点からの眺望に配慮し、周辺景観や背景となる山並みなどと調和したものとします。
  - ・眺望点の適切な維持・管理が図られるよう、管理者と連携します。
- 眺望点の魅力を活かします
  - ・多様な観点から継続的に、それぞれの地域の景観資源の掘り起こしを行います。それらを分類し取りまとめ、市のさまざまな施策や取組に活用します。
  - ・眺望景観を楽しむ回遊性を持ったルートの開発や、それらをまとめたパンフレットの作成などの情報発信により、市を代表する良好な景観として魅力を広く伝えます。
- 眺望点として快適な空間をつくります
  - ・周辺景観に配慮しつつ、快適で景色を楽しめる空間整備を図ります。
  - ・眺望を阻害する要因がある場合は、適切な対応を図ります。
- 眺望点の魅力を育みます
  - ・地域の清掃活動などを通じて景観に対する意識を醸成します。
  - ・住民団体や企業などの景観まちづくり活動の情報を発信するなど、それらの団体を支援し連携します。
  - ・眺望点を巡るウォーキングや眺望点の探索イベントなど、眺望景観について学ぶ機会を設け、眺望を活かした景観まちづくりの機運を醸成します。